

様式第4号(第6条関係)

令和6年度 第1回

奈良市入札監視委員会 定例会議審議概要

開催日	令和7年2月21日	
開催場所	奈良市北棟6階 601会議室	
出席委員	委員長 小島 幸保 委員 目細 実 (オンライン) 委員 岸 道雄 (オンライン)	
審議対象期間	令和5年12月1日～ 令和6年9月30日	
抽出案件	件数	(備考) 今回の会議では次のとおり報告・審議が行われた。 1. 奈良市の入札制度の現状について(令和5年度) 入札等の執行及び方法、業者登録、発注基準等 2. 奈良市対象分 一般競争入札及び指名競争入札の抽出案件について 3. その他 高額入札案件における入札参加者の要件
一般競争入札	奈良市 4 企業局 0	
指名競争入札	奈良市 1 企業局 0	
随意契約	奈良市 0 企業局 0	
合計	奈良市 5 企業局 0	
委員からの意見・質問・回答等	1. 奈良市の入札制度の現状について(令和5年度) <b>【質問】</b> 入札不調の件数は令和5年度では17件だったが、増えてきているのか。  <b>【回答】</b> 令和6年度は、それほど増えている状況にはない。  <b>【質問】</b> 入札に関する情報はホームページ等で公開しているとのことだが、各自治体の一定額以上の入札案件を一覧で確認できるポータルサイトのようなものはあるのか。  <b>【回答】</b>	

国のホームページで国の案件の発注見通しのほか、地方自治体の発注見通しへのリンクも一覧で掲載されている。

また、大型案件については建設業界の専門紙が案件を調べ紙面で紹介することもあるので、可能な限り情報を提供している。そのほか、事業者が民間の有料サイトのサービスを利用している場合もあると思う。

**【質問】**

大型工事に対応できる事業者がどれくらいいるのか知りたいので、市内格付されているランク別の事業者数を教えてほしい。

**【回答】**

土木は、Aランク15者、B24者、C77者、D54者、E63者、F90者で、全体で323者である。

建築は、Aランク12者、B7者、C35者、D22者、E4者、F32者で、全体で112者である。

2. 奈良市対象分

一般競争入札及び指名競争入札の抽出案件について

●入札番号12115 奈良市寺山霊苑建築設計業務委託

●入札番号12140 一条中高一貫校校舎改築その他工事に伴う工事監理業務委託

**【質問】**

今後について、入札参加者を増やすなど何か検討しているのか。

**【回答】**

最新の設計単価により設計金額を算出しており、人件費高騰についても反映しているものと考えている。入札参加者を増やすために金額面以外の対策を引き続き検討したい。

**【意見】**

いかにして入札参加者を増やすか、いかに事業者に興味をもってもらえるかについて現場の声を聞くために、事業者を無作為に抽出してヒアリングすることはできるのではないかと。

**【質問】**

発注の時期は工夫できないのか。

**【回答】**

発注時期の平準化を進めるのは解決方法の一つだと考えている。

**●入札番号12334 奈良市東山霊苑参拝者用トイレ棟新築工事**

**【質問】**

辞退されている事業者にはヒアリングしているか。

**【回答】**

現在ヒアリングは行っていないが、辞退の原因等を探るためプレハブ工事の案件についてもヒアリングを検討する。

**●入札番号12036 歩道橋撤去工事(法蓮佐保山四丁目地内・鴻ノ池運動公園)**

**【質問】**

例外的に事業者が少ない案件なのか。それとも入札参加資格を満たす事業者自体が少なく、橋梁の工事については1者入札の状況が続くのか。その場合、対象の事業者を広げることにはできないのか。

**【回答】**

この案件については、地域要件を設けておらず、事前の調査で一定数の事業者がいて競争性が確保できることを確認して入札に付したものの、結果として1者しか参加申請がなかったものである。入札時期が年度末で、有資格者を確保しにくい状況であったと推測される。なお、橋の工事や撤去は特殊な工事では事業者が限られるので、これ以上対象を広げるとは難しいと考えている。

**●入札番号12370 橋梁長寿命化修繕工事(西部第731号線(高槻橋)他)**

**【質問】**

8月の案件でありながら2者しか入札参加がなかったことと、申請後辞退があったことについて、それぞれ何が原因と考えているか。また、今後もこの種類の工事は案件としては出てくるのか。

**【回答】**

橋梁に関連する補修工事では、1級の国家資格の有資格者を専任配置及び下請け業者についても橋梁の補修に関する専門事業者の確保が必要であるが、全国的に一斉に橋梁の長寿命化点検や補修工事が行われており、国や高速道路などの長

大な橋の方が金額も大きく実績面でのメリットも大きいことから、大きい案件から順に事業者は札を入れていくのだと思う。辞退した事業者については、他の工事を落札するなどし、有資格者を奈良市の案件に確保できないため辞退せざるをえなかったのではないかと考えている。

また、橋梁は5年に1回の点検が必要なので、これからも案件として出てくる。

### 3. その他

高額入札案件における入札参加者の要件

#### 【質問】

高額案件に限らず、入札参加事業者が少ない案件には、万博の工事の影響はあるのか。

#### 【回答】

技術者の確保が難しいことや、資材や設備等について価格が高騰しているのは万博にも一因があると思うが、技術者の高齢化など業界としてのそもそもの問題もあると考えている。

#### 【意見】

入札参加事業者の対象を広げるだけでなく、事業者が手をあげない理由がどこにあるのか、どのような魅力があれば入札参加申請、入札をしたくなるのか時間をかけて丁寧にヒアリングするしかないのではないかと。

資材価格の高騰などの面から事業者も消極的になっているのではないかと。

他の自治体で入札制度や契約制度について事業者の意見をざっくりばらんに聞く機会があり、参考になった。事業者から本音を聞くことができれば対策を検討できるかもしれない。(参考意見として聞くのであって、要望等がすべて採用されるわけではない旨をしっかりと伝えておくことも必要。)

物価の高騰、人手不足、万博、能登地震など、このままでは高落札率が続く可能性があり、予算の適切な執行のためにも事業者の声を聞く機会があってもよいと思う。

また、奈良市の入札参加資格の申請手続きについて、真に必要な書類や資格を求めているか、すなわち、事業者に過度の負担となっていないかなどの検証も必要ではないかと。

委員会による 意見具申の 内容	なし
-----------------------	----